



平成 29 年 (2017 年) 3 月 15 日

彦根市長 大久保 貴 様

彦根市都市交通マスタープラン策定委員会
会長 塚口 博司



彦根市都市交通マスタープラン (案) 策定に関する提言

本委員会は平成 27 年 1 月 15 日付彦都第 585 号により市長から依頼のありました彦根市都市交通マスタープラン策定について、計 5 回策定委員会を開催し検討を進めて参りました。今回の策定については、都市計画マスタープランに記載しているコンパクトシティを支える充実した交通ネットワークの構築等に関する方向性を示しております。また、この検討については、委員会での検討とともに意見公募も実施し、概ね 3 年の期間を掛けて進めたものです。

ついては、この策定案を本委員会の検討結果として、別添のとおり会長としての見解を添えて市長に提言します。

彦根市都市交通マスタープラン策定委員会

会長 塚口博司

彦根市総合計画では基本コンセプトとして、「風格と魅力ある都市の創造」が掲げられています。そして、「住みよいまちづくり」および「にぎわいのあるまちづくり」がまちづくりの方向性として挙げられています。

彦根市総合計画を踏まえて作成された彦根市都市計画マスタープランでは、上記のコンセプトを実現するためのまちづくりの目標として、多様な人の交流による賑わいの創出、歴史文化や自然を受け継ぐまちづくり等が挙げられています。これらのまちづくりの目標は、活力あるまちの実現のための普遍的な要素ですが、人口減少社会に入った現時点では特に重要であると考えられます。

歴史都市彦根市は、多くの歴史・文化資産を有する魅力的な都市です。一方、歴史都市の一般的特性として、道路網は自動車交通に適した形状になっていません。このため、現在でも交通渋滞の発生が大きな都市問題の一つとなっています。観光都市という特徴を有する彦根市では、交通に関する諸問題の緩和・解消は市民生活に重要であるだけでなく、来訪者のアクセス性を向上させて交流を活性化させるために重要です。

彦根市の交通計画に当たっては、道路整備も必要でしょう。ただし、言うまでもなく、歴史的なまちの構造は彦根市の魅力でありますから、これを前提としたものでなければなりません。鉄道、バスにタクシーを含めた公共交通の重要性は今後さらに高まると考えられます。そして、公共交通と自動車交通のバランスよい構成が不可欠です。また、交通インフラの整備と適切なマネジメントが一体となったシステムが望まれています。

人口減少に入った現時点では、都市のコンパクト化が必要となっています。都市のコンパクト化は、都市を全体として縮小するというのではなく、都市構造をクラスター型にし、各クラスターを適切な交通手段でネットワーク化するものです。都市のコンパクト化が喫緊の課題となっている今日、交通システムの重要性は従前以上に高まっています。

「彦根市都市交通マスタープラン」はこのような状況を踏まえて策定されたものです。本マスタープランが彦根市の今後の交通システムの改善に寄与することを祈念いたします。